

検討方針（案）

（第 1 回 高田松原津波復興祈念公園有識者委員会 資料）

平成 2 7 年 8 月 5 日



国土交通省 東北地方整備局



1. 検討組織体制（案）

- ・高田松原津波復興祈念公園『有識者委員会』の下に、3つの『ワーキンググループ』を設置し、テーマごとに具体的な検討を行う。

①空間デザイン検討ワーキンググループ（仮称）

②協働体制検討ワーキンググループ（仮称）

③震災伝承検討ワーキンググループ（仮称）

- ・あわせて3名の『アドバイザー』を委嘱し、専門分野からの意見を、適宜必要に応じて個別に聴取する。

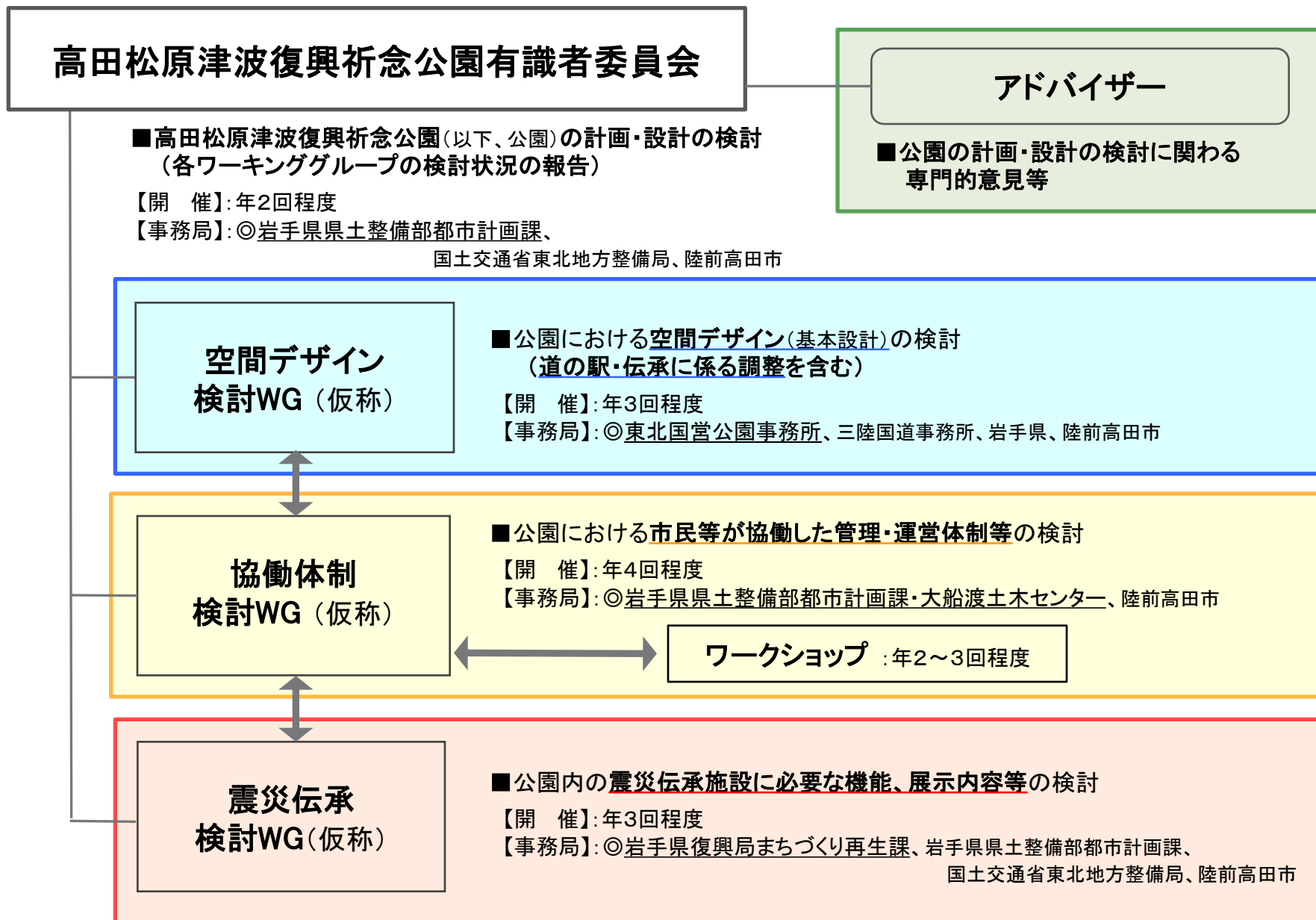
○池邊 このみ（千葉大学大学院園芸学研究科教授）

○牛山 素行（静岡大学防災総合センター副センター長・教授）

○本多 文人（陸前高田市立博物館館長） 【敬称略】

※高田松原津波復興祈念公園有識者委員会設置要綱第6に基づき設置・委嘱

2. 検討事項（案）



3. 検討メンバー（案）

■ワーキンググループ委員名簿（案）

【空間デザイン検討WG（仮称）】

区分	氏名	所属・役職等
幹事	篠沢 健太	工学院大学建築学部教授
副幹事	平野 勝也	東北大学災害科学国際研究所准教授
委員	平塚 明	岩手県立大学総合政策学部教授
委員	松政 正俊	岩手医科大学教養教育センター生物学科教授
委員	佐々木美代子	陸前高田市地域女性団体協議会長

【震災伝承検討WG（仮称）】

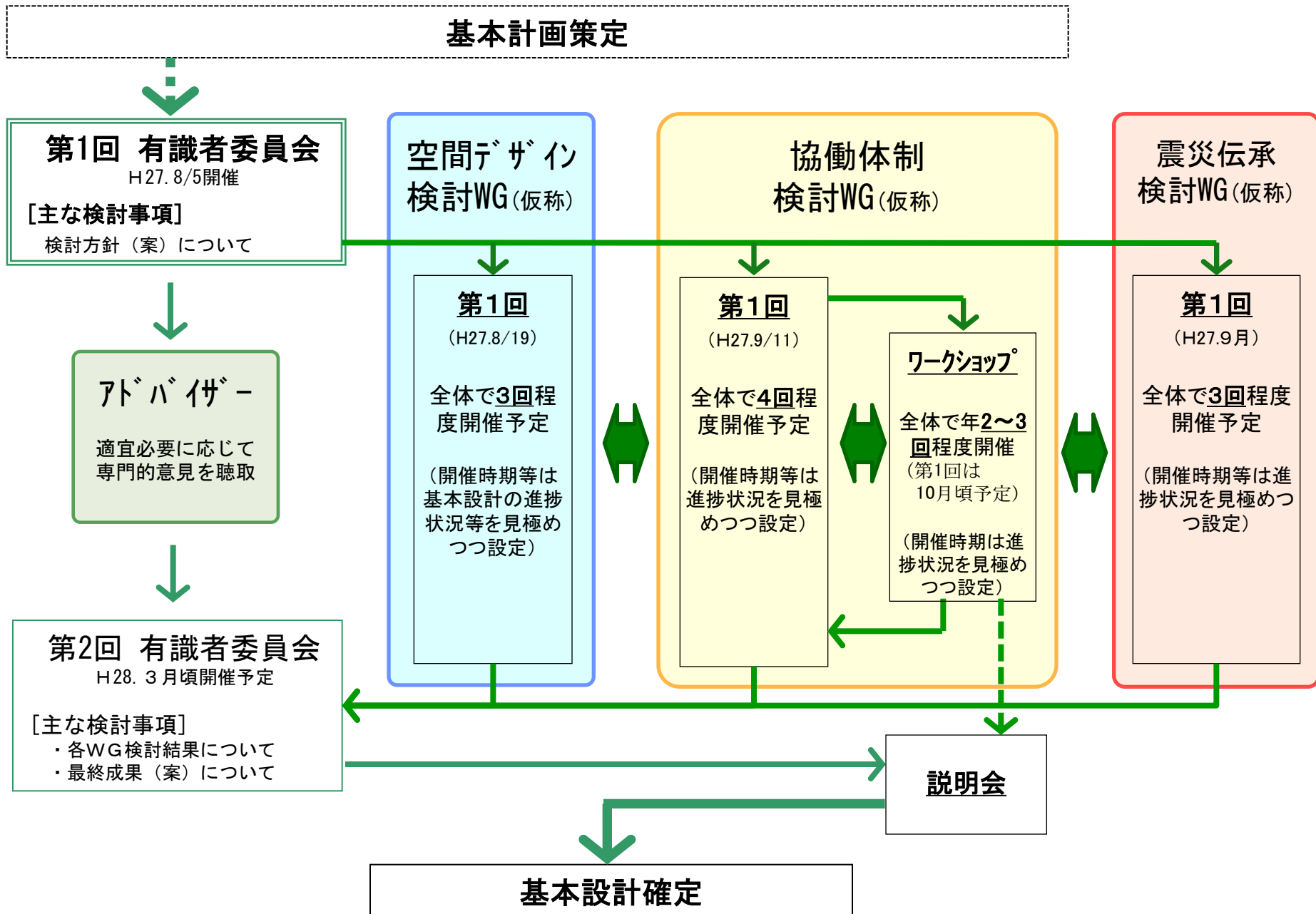
区分	氏名	所属・役職等
幹事	南 正昭	岩手大学工学部教授、地域防災研究センター長
副幹事	柴山 明寛	東北大学災害科学国際研究所准教授
委員	小笠原 裕	岩手日報社 常勤監査役
委員	山口 壽道	公益財団法人山の暮らし再生機構理事長
委員	熊谷 順子	元国土交通省東北地方整備局企画部防災課長
委員	赤沼 英男	岩手県立博物館 首席専門学芸員

【協働体制検討WG（仮称）】

区分	氏名	所属・役職等
幹事	広田 純一	岩手大学農学部教授
副幹事	五味 壮平	岩手大学人文社会科学部准教授
委員	石川 浩行	一般社団法人 陸前高田青年会議所
委員	磐井 正篤	株式会社 いわ井
委員	岡本 翔馬	NPO法人 桜ライン311
委員	菅野 修	陸前高田市体育協会
委員	種坂奈保子	陸前高田地域振興株式会社
委員	村上 幸司	陸前高田市企画部商工観光課
委員	吉田 和子	りくカフェ運営メンバー
委員		（ほか3～4名委嘱予定・現在調整中）

※幹事及び事務局が協議の上必要とした場合は、委員を追加することができる。

4. 検討スケジュール（案）



5. 基本計画からの継続検討事項

◇「基本計画」に記載した「今後の検討課題」やパブリックコメントでの意見等を踏まえると、基本設計段階で引き続き検討する事項としては、主に下記が挙げられる。

主な継続検討事項

各WGの役割分担

① 陸前高田市の地域防災計画を踏まえた公園利用者の避難、避難路や築山のあり方（ノーマライゼーションへの配慮を含む）

② 名勝における視点場からの景観、市街地から当公園の見え方等、道の駅も含めたトータルな地域景観形成のあり方

③ 名勝に配慮した祈りの場などの整備のあり方

④ 東日本大震災で犠牲になられた方々の刻銘碑や、被災地域の石碑等のあり方

⑤ 市民等との協働による管理運営体制のあり方

⑥ 新しい市街地や住宅の整備に合わせ、将来のまちと公園との連携を考慮した整備のあり方（交流人口増大、地域活性化等への配慮）

⑦ 地域の方々と時間をかけて協働で整備を進める段階的な整備のあり方

⑧ 教訓の伝承のあり方（震災遺構の保存・利活用方策、「震災津波伝承施設」で提供する情報の内容、市が整備する「(仮称)一本松記念館」との役割分担 等）

⑨ 植栽のあり方（地域環境や公園の機能等に応じた植栽、市民等の協働による植栽活動 等）

空間デザイン
検討WG (仮称)

協働体制
検討WG (仮称)

震災伝承
検討WG (仮称)